



家族以上に、家族になる。

『IoT及びHEMSを活用した地域包括ケアと
地球温暖化対策との接点』

おかげさまで創業127周年

株式会社 **K-DIC** <ケイ・ディック>

代表取締役社長 黒田保光

○ケイ・ディック沿革 **おかげさまで130周年**

明治25年 (1892年) 黒田才之助(初代)が富山市長柄町に荒物(金物)店を創業

昭和40年 (1965年) 黒田保之助(3代目)が家庭用電気機器の販売を開始
屋号を黒田金物店 電気部 とする

平成元年 (1989年) 屋号をK-DIC黒田電機商会とする

平成17年 (2005年) 法人化し(株)K-DIC<ケイ・ディック>となり、現在に至る



現在の店舗



S40年当時の店舗の様子

○ケイ・ディックの現在の事業



家電



住宅設備

通信



リノベーション



太陽光発電



健康関連



新卒者の採用や女性の採用



女性の営業チーム
「チームきらり」



ミャンマーより
外国人実習生受入

中小企業の役割は「職親」
スタッフの成長を共に喜びたい！



K-DIC

まちのでんきや。

番外編

K-DIC

対談

PRESENTS



平成30年入社

K-DICスタッフ



平成31年入社

K-DICスタッフ

BBT放送 ポツンと一軒家(毎週土曜日)絶賛放送中！

社内勉強会や地域の学校での授業にて



地域の大学でのガイダンス



社内での勉強会



○まちのでんきやのミッション
この地域にお住まいの高齢の方々が
1人暮らしでも安心して住み続けられるまちを創る事



○地域の課題

少子超高齢化！労働人口減少！



デジタル化に伴いついていけない人が増加！



パソコン、地上デジタル、
スマホ等



こんな課題を「IoT(物のインターネット)」と「人」の力で解決できないか？



+



「IoT」を用いた業種を超えた地域連携、 「高齢者見守り隊」のイメージ

まちのでんきや
配管屋、ガス屋等



元気で生活している
活動情報を送り
安心を与える。



故障や異常感知により速
やかに対処。遠隔操作に
て高齢者に代わって不便
なことを対応する。



遠く離れた家族

セキュリティー管理、
クラウド運営、
個人情報管理のプロにより守られた。



部品を持ってすぐ
に駆け付ける。

冷蔵庫の中身をカメ
ラで判定し、AIにて
自動的に注文が入る。



マッサージチェアで測
定したその日の体重や血
圧を、自動的に病院に送
信する



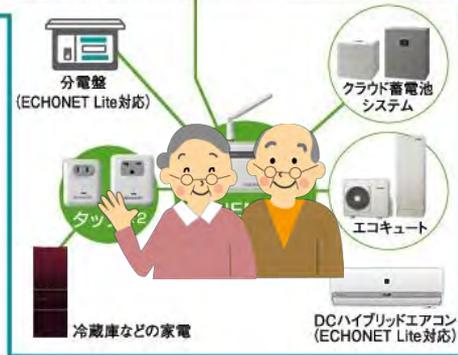
健康状態：体重、血圧、活動量、睡眠量
住まいの環境：気温、湿度、明るさ
管理：来客者、電話、配送物



病院・支援センター



商品を準備し配送、
冷蔵庫に届ける。



高齢者宅

異常があれば、
駆けつける。





リビングゾーン
音声だけですべての家電が動く。照明が調整される。
温度湿度の調整、来客対応など

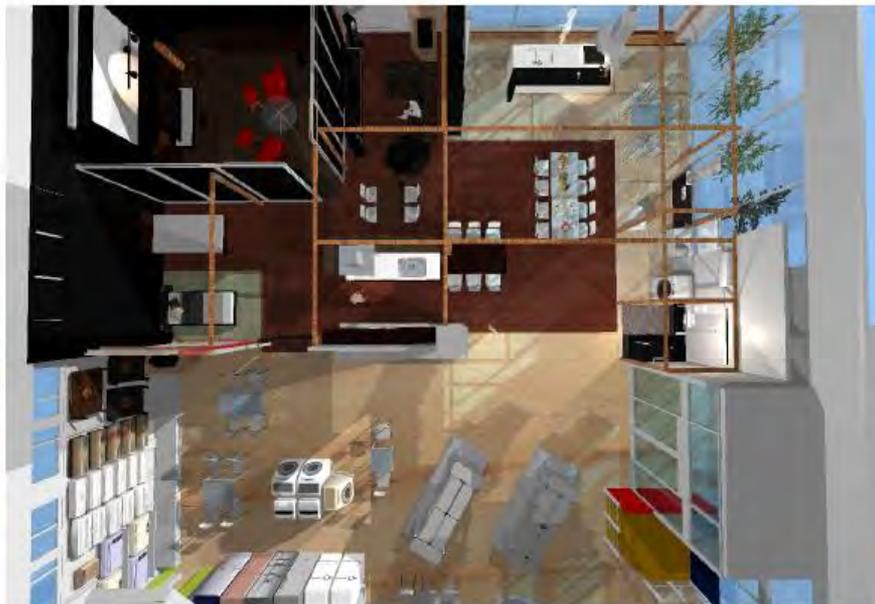


健康管理(遠方より見守り機能)



自動化
たくさんのリモコン操作不要。
最適な番組提案。
続きをお風呂や寝室で視聴。

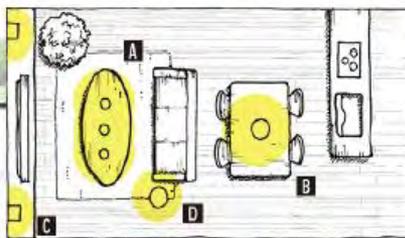
K-DIC IOTショールームイメージ



HEMS (ホームマネージメントシステム)
電気の見える化
遠隔操作、自動的に
お風呂がはり、エアコン
が入り照明がつく。
電気をためたり、発電したり。



体調管理
カロリー計算、運動量チェック、健康状態により
病院に自動的にデータを送信。



キッチンで食材を使った自動調理案内。
食材の発注やレシピ提案。健康管理。



IoTある生活が体感できる ケイ・ディックIoTラボ

IoTある生活が体感できる ケイ・ディックIoTラボ



IoTラボの全国展開
2018年東京ビックサイト
2019年インテックス大阪
2020年東京ビックサイト

HEMSを用いた遠隔操作

リビングシアター
“人が集える場所”をテーマに、天井には5.1chサラウンドスピーカーが埋め込まれ、100インチのプロジェクターで映画、ゲーム、カラオケ等を楽しみます。

ミラーテレビ
鏡の中にテレビが映り込み、まるでテレビが壁に溶け込んでいくような演出が楽しめる。また、鏡の裏面にテレビが設置されているため、テレビの裏面が汚れる心配もありません。



AIスピーカー連携
AIスピーカーが音声コマンドで操作を行い、「OK Google」と話しかけると家電の操作が可能です。また、ニュースの読み上げ機能も利用できます。

「OK! Google、テレビでJazzをかけて!」と話しかけてください。

まちのでんきやの地球温暖化対策/カーボンニュートラルに対して 取組その1. 省エネ家電への取組

○ 省エネ家電



約**34%**※の省エネ

32V型液晶テレビの省エネ性能の比較



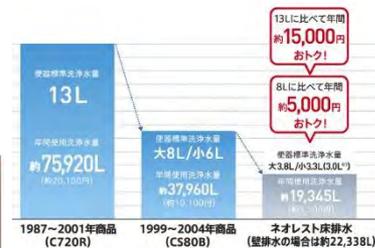
約**5%**※の省エネ

10年前のエアコンとの期間消費電力量の比較



約**49%**※の省エネ

省エネ性能の推移 [401~450Lの例]



約**19%**※の省エネ

10年前の温水洗浄便座との年間消費電力量の比較



○ 照明LED化



約**85%**※の省エネ

ほぼ同じ明るさになる一般電球・電球形LEDランプの消費電力・寿命比較例



まちのでんきやの地球温暖化対策/カーボンニュートラルに対して

取組その2. 創エネ・蓄エネ・EVへの取組

○ 自家消費型 太陽光発電



○ 蓄電池・V2H



2020年1月～
富山市指定介護事業所として登録
新規事業「健康ラボ」開始！
～高齢の方々の健康を創る～
補聴器/治療器/介護福祉用具商品等



○事業展開



株式会社ケイ・ディックのミッション

「私たちは、お客様の家族となり暮らしに喜びを提供します」

事業①.介護事業
補聴器事業

②蓄電池エネルギー事業
V2H・蓄電池

③家電/住宅設備
(新規顧客・家電難民対応)



全国放送のニュース番組「中小企業ビジネスジャーナル」に 「地方発！地域貢献のビジネスモデル」として紹介。



会計ソフト「勘定奉行シリーズ」でおなじみの株式会社オービックビジネスコンサルタントの和田社長からも「顧客に感動を与える仕事」と称賛をいただき、弊社が今後進めていこうとしていた介護分野への事業拡大をすすめられました。「健康ラボ構想」がますます加速することを感じた番組出演でした。



事前に取材があり、K-DICショールーム内のIoTラボでの説明やお客様宅にご訪問のシーンも放送されました。お客様から「ケイ・ディックさんではなくてはならない存在」と言って涙ぐむ場面もあり、感動の放送でした。

2022年 まちのパン屋さん開業予定！





家族以上に、家族になる。

省エネ製品で安心と快適をお届けする仕事

おかげさまで創業130周年

株式会社 **K-DIC** <ケイ・ディック>

代表取締役社長 黒田保光